

特集

## Hitachi Social Innovation

Case Study

ダイセル

日立知財ソリューション

県立多治見病院

日立HCIソリューション

日本の源流再発見

栃木県宇都宮市

はいたっく 2019年9-10月号

本印刷物は、Adobe 社 Acrobat により作成した PDF です。

All Rights Reserved, Copyright ©2019, Hitachi, Ltd.

## CONTENTS

### 特集 Hitachi Social Innovation

#### 2 Information

#### Hitachi Social Innovation 2019 TOKYOのお知らせ

#### 7 日本の源流再発見 File 31

古来から脈々と受け継がれる、石の文化  
栃木県宇都宮市

#### 9 Case Study

知財を重視した経営戦略を支援する「日立知財ソリューション」  
株式会社ダイセル

#### 11 Case Study

電子カルテシステムの基盤に  
日立ハイパーコンバージドインフラストラクチャ (HCI) ソリューションを採用  
地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院

#### 13 Solution

ハイパーコンバージドインフラストラクチャ (HCI) の導入効果を最大化する  
「日立HCIソリューション」

#### 15 Solution

モーターの電流データを分析、劣化状態を可視化し、異常をいち早く検知する  
「モーター電流予兆診断ソリューション」

#### 17 Topics

日立ワークスタイル変革ソリューション

#### 18 ニュースリリースダイジェスト/Information

発行日 2019年9月10日 通巻626号  
発行/ 株式会社 日立製作所  
お問い合わせ システム&サービスビジネス統括本部 コーポレートコミュニケーション本部  
TEL (03) 5471-8900 (ダイヤルイン)  
〒140-8572 東京都品川区南大井六丁目27番18号  
日立大森第二別館  
印刷 株式会社 日立ドキュメントソリューションズ  
制作スタッフ 編集長:佐藤 篤 編集:広報部、今野 幸恵 デザイン:井澤 秀幸、諸橋 由紀恵、岡村 尚之  
ライター:白井 和夫、福永 泰司、増淵 陽子 カメラマン:井澤 広幸 校閲:萩原 明子

はいたっく誌情報提供サイト

<https://www.hitachi.co.jp/hitac-magazine/>



本誌は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。

# Hitachi Social Innovation Forum / 2019 TOKYO

開催日時 2019年10月17日(木)・18日(金) [9:30～18:00]  
※17日の一部セミナーは18:30終了となります。

会場 東京国際フォーラム (東京都千代田区)

主催 株式会社 日立製作所

入場無料・事前登録制 <https://hsiftokyo.hitachi>



「POWERING GOOD」 それは、世界中の人々が望む良いこと(=GOOD)にお客さまとともに全力を注ぐ日立の企業姿勢を表したメッセージです。本イベントでは、「POWERING GOOD」に込めた私達の想いとともにお客さまとの「協創」を通じて、世界各国で進化を続ける社会イノベーション事業の最新の事例と取り組みを、講演、ビジネスセッション、セミナー、展示などの多彩なプログラムにて幅広くご紹介いたします。

なお、誌面でご紹介するプログラム内容は、本誌「はいたっく」をご愛読の皆さまに向け、代表的なものを取り上げています。掲載した以外にも多数の講演などを行っていますので、オフィシャルサイトもあわせてご覧ください。ご多用のこととは存じますが、ぜひご来場賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## Day1 | 10月17日(木) 基調講演 9:30-10:15 Hitachi Social Innovation is POWERING GOOD



日立は、1910年の創業以来、技術を通じてより良い社会の実現に貢献することをめざしてきました。グローバル化、デジタル化が進化する今、日立が考えるより良い社会とはどのような社会なのか、そして、社会イノベーション事業を通じて、どのようにそれを実現していくのか、日立の考えや取り組みをお話します。

東原 敏昭  
株式会社 日立製作所  
執行役社長兼CEO

## Day2 | 10月18日(金) 特別講演 9:30-10:30 The Story of Great Innovators & How We Nurture Breakthrough Innovation in Our Lives 偉大なイノベーターたちの物語 ～画期的なイノベーションの起こし方～



偉業を成し遂げた世界的・歴史的なイノベーターたちは、なぜ複数の画期的なイノベーションを生み出すことができたのでしょうか。私たちは、どうすれば会社や組織でイノベーションを起こすことができるのでしょうか。画期的なイノベーターに共通する資質、戦略思考を基に、イノベーションを起こす可能性を育てるポイントについて、シリング氏が解き明かします。

メリッサ・シリング氏  
ニューヨーク大学  
レナード・N・スターン・スクール・オブ・ビジネス教授

### 特別対談 1 10/17(木) 13:30-14:45

#### サービスイノベーションの力 ～デジタル・AIの進化がもたらす新たな価値～

##### 藤川 佳則氏

一橋大学 副学長補佐  
一橋ビジネススクール 国際企業戦略専攻  
MBAプログラムディレクター&准教授

##### 石山 洸氏

株式会社エクサウィザーズ  
代表取締役社長

##### [モデレータ] 赤津 雅晴

株式会社 日立製作所  
研究開発グループ 技師長

### 特別対談 2 10/18(金) 15:15-16:30

#### 人間中心の地域社会をデザインする ～ビジョン・シビックテック・協創が導く未来～

##### 太田 直樹氏

株式会社 New Stories 代表  
元総務大臣補佐官

##### 佐藤 拓也氏

CODE for IKOMA 代表  
YuMake合同会社 代表

##### [モデレータ] 北川 央樹

株式会社 日立製作所  
研究開発グループ 東京社会イノベーション協創センター長

## Day1 | 10月17日(木) 講演 10:45-11:45 デジタルで価値を創出する社会イノベーション

今日、国連が掲げるSDGsや日本政府によるSociety 5.0をはじめ、さまざまな社会課題に応えるグローバルな取り組みが加速する一方、先進的なデジタル技術により一人ひとりのQoLや幸福度を高める新たなサービスが生まれ出されています。

社会や産業のデジタル化が進む中、日立はデジタルソリューションによって、グローバルに広がる多彩なパートナーとともに、社会課題を解決し、人々の暮らしに新たな豊かさを届けるための挑戦を始めています。

ここでは、世界に先駆けて新たなデジタルサービスを実現する事例を通して、社会イノベーションがめざす未来社会の姿をご紹介します。



株式会社 日立製作所  
執行役員社長  
社長補佐(システム&サービス事業、ディフェンス事業担当)、  
システム&サービスビジネス統括責任者兼  
システム&サービスビジネス統括本部長兼社会イノベーション事業統括責任者

塩塚 啓一

## Day2 | 10月18日(金) Business Session 3 11:00-12:30 IoTが拓くビジネスと社会

AIやロボティクスなどを含め、急速なIoT技術の進展により、世界を舞台にした新しいサービスの開発やビジネスモデルの革新が加速しています。

本セッションでは、多様なパートナーシップによって実現するグローバルなIoT基盤を通して創出される新たな価値について展望します。

そして、それによってもたらされる新たなビジネスの可能性、幅広い協創によるイノベーション、そこで得られるさまざまな体験価値などについて、サービス企業の視点も含めたディスカッションをおこないます。



KDDI株式会社  
執行役員  
ソリューション事業本部 ビジネスIoT推進本部長

永井 真澄氏

トヨタ自動車株式会社  
コネクティッドカンパニー  
e-TOYOTA部 海外コネクティッド企画室

室長  
うみがい あきみち  
海貝 明道氏



株式会社 日立製作所  
執行役員常務  
社会ビジネスユニットCEO

永野 勝也



【モデレータ】  
名古屋商科大学ビジネススクール  
教授

澤谷 由里子氏

Day2 | 10月18日 (金) **Business Session 6**  
 13:45-15:15 **グローバル・ビジネス協創へ向けた取り組みと展望**  
 ～インドにおける電子決済サービス事業と国内キャッシュレス決済への示唆～



株式会社 日立製作所  
 執行役常務  
 金融ビジネスユニットCEO  
**山本 二雄**



【モデレータ】  
 株式会社 日立製作所  
 金融システム営業統括本部 事業企画本部  
 シニアエバンジェリスト  
**長 稔也** (ほかご登壇者調整中)

Day2 | 10月18日 (金) **SDGs Session**  
 16:40-18:00 **SDGs達成に貢献していくオープンイノベーション**

持続可能な未来の地球社会を築くためにSDGsを共通目標とした取り組みが加速しています。グローバルに広がる新たな社会課題を克服するために、さまざまなステークホルダーとの協創を通じた社会・環境価値の創出が欠かせません。従来の産官学連携に加え、ここで重要なのは地域や市民とのつながりであり、そのためにはビジョンへの共鳴や課題の共有がカギとなります。イノベーションの源泉となるR&Dの進化とともに、ソーシャルビジネス、アカデミア、そしてESG投資など関連セクターの代表が一堂に会してオープンイノベーションの展望を語り合います。



アムンディ・ジャパン株式会社  
 ディレクター  
 運用本部  
 ESGリサーチ部長  
**近江 静子氏**



ジャーナリスト  
 ユナス・よしもとソーシャルアクション株式会社  
 取締役  
**スベンドリニ・カクチ氏**



株式会社 日立製作所  
 理学博士  
 研究開発グループ 技術戦略室 室長  
**小池 麻子**



【モデレータ】  
 東京大学  
 教養学部附属教養教育高度化機構  
 環境エネルギー科学特別部門  
 客員准教授  
**松本 真由美氏**

## DIGITAL INNOVATION

10月17日(木) 13:00-13:40 [SE01-08](#)

## デジタル×デザインで協創するイノベーション

(株)日立製作所  
渡邊 友範10月17日(木) 15:20-16:00 [SE01-21](#)データを持ってくるのか、データのところへ行くのか。  
デジタル戦略を成功に導く最新のテクノロジー(株)日立製作所  
中村 輝雄10月17日(木) 13:00-13:40 [SE01-09](#)■複雑化した生命保険システムの  
リノベーション  
～アプリケーション開発の生産性向上の取り組み～T&D情報システム(株) 木村 和浩 氏  
(株)日立製作所 玉山 英樹10月17日(木) 14:10-14:50 [SE01-14](#)■そのデジタルトランスフォーメーション、  
誰と推進しますか？  
～人がつくる、人をつくる日立のデザイン思考～

(株)日立製作所 浅見 真人/松本 和己

10月17日(木) 14:10-14:50 [SE01-15](#)■アメリカ心臓協会との協創による医療分野への  
クラウド技術の適用事例とグローバル最新事例アメリカ心臓協会 ジェニファー・ホール 氏  
日立ヴァンタラ社 スリ・ヴァジレディ  
(株)日立製作所 酒井 宏昌10月17日(木) 15:20-16:00 [SE01-22](#)■データ活用の成功の秘訣は？  
～実プロジェクトでの経験から学ぶ  
データパイプライン成功のポイント～日立ヴァンタラ社 アナンド・ラオ  
(株)日立製作所 岩本 優香10月17日(木) 16:30-17:10 [SE01-26](#)■デジタル時代におけるIT部門の  
ありかたとは？  
～日立IT改革事例から考察する成功のポイント～

(株)日立コンサルティング 笹田 剛宏

10月17日(木) 17:00-18:30 [SE01-28](#)■ビジネスモデルが変わる [SE01-29](#)  
～Kubernetes ってどうよ～Japan Digital Design(株) 楠 正憲 氏  
トヨタ自動車(株) 伊藤 雅典 氏  
(株)日立製作所 岩崎 正明/「モテレタ」中村 輝雄10月18日(金) 11:20-12:00 [SE02-04](#)■言語・画像・統計処理技術を活用した  
業務効率化の最前線  
～金融機関の事例を中心に～

(株)日立製作所 仲田 智将

10月18日(金) 13:00-13:40 [SE02-10](#)■あなたのDigital Transformation  
プロジェクトは大丈夫？  
～現場が陥りやすい7つの誤解～

(株)日立製作所 市川 和幸

10月18日(金) 14:10-14:50 [SE02-17](#)■デジタルトランスフォーメーションの  
実現に必要な人材とは？

(株)日立アカデミー 田中 貴博

10月18日(金) 14:10-14:50 [SE02-18](#)■エッジコンピューティングの最新動向と  
AI×制御への取り組みインテル コーポレーション クリスティン・ボウルズ 氏  
(株)日立製作所 入江 直彦10月18日(金) 15:20-16:00 [SE02-25](#)■変化するビジネス環境に  
知の成長をもたらすAI

(株)日立製作所 徳永 和朗

10月18日(金) 15:20-16:00 [SE02-26](#)■スマートフォンで撮影するだけで  
現場の課題を解決  
～工事の進捗管理や原材料の在庫管理を手軽に簡単に～

(株)日立ソリューションズ 賀川 義昭

10月18日(金) 16:30-17:10 [SE02-32](#)■ITジャーナリストが聞く、  
クラウド戦略における日立のこれから(株)インプレス 田口 潤 氏  
(株)日立製作所 中村 輝雄

## SECURITY

10月18日(金) 11:20-12:00 [SE02-05](#)

## 事業継続に向けて進化するサイバーセキュリティ～世の中の新たな潮流と日立の具体的取り組み～

(株)日立製作所  
宮尾 健10月17日(木) 11:20-12:00 [SE01-03](#)■ICカードもパスワードもいらない  
便利で安全な社会  
～生体情報を使った公開鍵認証基盤(PKI)と活用事例～

(株)日立製作所 高橋 健太

10月17日(木) 13:00-13:40 [SE01-10](#)■制御システムセキュリティの現状と向か  
うべき方向について～電力分野を中心に～電気事業連合会 大友 洋一 氏  
(株)日立製作所 中野 利彦10月17日(木) 14:10-14:50 [SE01-16](#)■工場が危ない！サイバー攻撃から  
工場を守るための日立の取り組み

(株)日立製作所 山田 勉/立花 広一

10月17日(木) 15:40-17:10 [SE01-24](#)■ボードゲームで疑似体験！  
セキュリティインシデント対応演習※両日とも実施内容は同じです  
(株)日立製作所 田中 栄一10月18日(金) 13:00-13:40 [SE02-11](#)■サプライチェーンの信頼性回復への挑戦  
～製品・サービス不正を防ぎ、信頼でつながる社会へ～

(株)日立製作所 羽根 慎吾

10月18日(金) 13:00-13:40 [SE02-12](#)

■実践的な高度セキュリティ人材育成の取り組み

(株)日立ソリューションズ・クリエイト 上野 貴之  
白坂 理佳

(株)日立ソリューションズ 青山 桃子

10月18日(金) 14:10-14:50 **SE02-19**  
 ■高度分析を加えて「点」ではなく「面」で考える  
 セキュリティ運用管理～統合監視の必要性～  
 (株)日立システムズ 山野 浩

10月18日(金) 15:20-16:00 **SE02-27**  
 ■クラウドシフトが進む中、  
 考慮すべきセキュリティリスクと対策  
 (株)日立ソリューションズ 扇 健一

10月18日(金) 16:30-17:10 **SE02-33**  
 ■製造プロセスの確からしさが品質不正をなくす鍵  
 ～フィジカルセキュリティ技術による新たなアプローチ～  
 (株)日立製作所 野端 芳敬

WORKSTYLE INNOVATION

10月17日(木) 15:20-16:20 **SE01-23**  
**未来をひらく幸せな働き方に向かって～協創と実践事例を交えて～**  
 西部ガス(株) 日本マイクロソフト(株) (株)日立製作所  
**寺地 泰史氏 小柳津 篤氏 原田 宏美/高本 真樹**

10月17日(木) 11:20-12:00 **SE01-04**  
 ■働き方改革を加速させる  
 「テレワーク」環境の将来像  
 東京急行電鉄(株) 永塚 慎一氏  
 (株)乃村工藝社 真鍋 順一氏  
 (株)日立製作所 箕輪 正樹

10月17日(木) 11:20-12:00 **SE01-05**  
 ■働き方改革の事例と  
 HRアナリティクスの取り組み  
 (株)日立ソリューションズ 伊藤 直子

10月17日(木) 14:10-14:50 **SE01-17**  
 ■働き方改革の成功ポイントと最新動向  
 ～次世代の人財多様化時代に向けて～  
 (株)テレワークマネジメント 田澤 由利氏  
 (株)日立製作所 山根 健一

10月17日(木) 16:30-17:10 **SE01-27**  
 ■DX時代におけるRPA導入・運用の手順書  
 (株)日立ソリューションズ 松本 匡孝

10月18日(金) 11:20-12:00 **SE02-06**  
 ■働き方改革から地方創生へつながる  
 テレワーク社会に向けて  
 (株)日立製作所 荒井 達郎

10月18日(金) 13:00-13:40 **SE02-13**  
 ■RPA運用管理における  
 野良ロボット抑止方法の検討と実践  
 ～デスクトップ型1台からでも始められるRPA運用管理～  
 (株)中電シーティーアイ 加藤 隆仁氏  
 (株)日立製作所 玉山 英樹

10月18日(金) 14:10-14:50 **SE02-20**  
 ■多様なIT機器の調達・運用を集約  
 ～働き方改革とコア業務への集中をめざして～  
 みらかホールディングス(株) 茂手木 達男氏  
 (株)日立製作所 望月 晶

10月18日(金) 16:30-17:10 **SE02-34**  
 ■人事の実践経験者が語る!  
 HRテックを活用した日立の働き方改革の実例  
 (株)日立製作所 大和田 順子

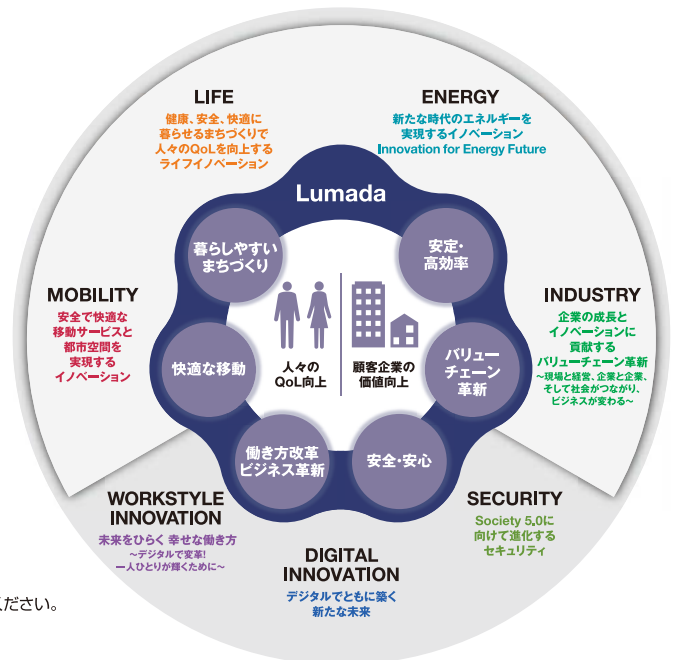
Exhibition [展示のご案内]

日立グループは、お客さまやパートナーとの協創を通じた社会イノベーション事業で、社会のさまざまな課題を解決し、人々のQoLの向上とお客さまの企業価値の向上をめざしています。展示会場では、進化を続ける社会イノベーション事業の最新の事例や取り組みなどを、幅広くご紹介いたします。世界中の人々が望む良いこと(=GOOD)に、お客さまやパートナーとともに全力を注ぎかけ作りの場であるHitachi Social Innovation Forum 2019 TOKYOに、ぜひご参加ください。

- プログラムおよび登壇者は変更となる場合がございます。最新の詳細情報につきましては公式サイト(<https://hsiftokyo.hitachi.com>)をご覧ください。
- 当日の進行状況により、開始時間に変更となる場合がございます。
- 記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

お問い合わせ先

(株)日立製作所 Hitachi Social Innovation Forum 2019 TOKYO事務局  
 TEL:03-4235-6140(9:30-12:00、13:00-17:00 土・日・祝日を除く) E-Mail:contact.hsiftokyo.jq@hitachi.com





大谷資料館・地下採掘場跡

# 日本の源流 再発見

File 31 栃木県宇都宮市

## 古来から脈々と受け継がれる、石の文化

栃木県宇都宮市の大谷地域は、江戸時代に始まった大谷石採掘により採石産業のまちとして発展しました。2018年には日本遺産「地下迷宮の秘密を探る旅 ～大谷石文化が息づくまち宇都宮～」に認定されました。街には大谷石を使った建物が点在し、訪れる人々を魅了しています。



## 「大谷石」とともに歴史を刻むまち

江戸時代には城下町として栄え、当時は小江戸と呼ばれるほどの繁栄を遂げた栃木県宇都宮市。市内には、宇都宮ふたあらやま二荒山神社の石垣をはじめ、教会や民家の塀に至るまで多くの場所で大谷石が使われています。

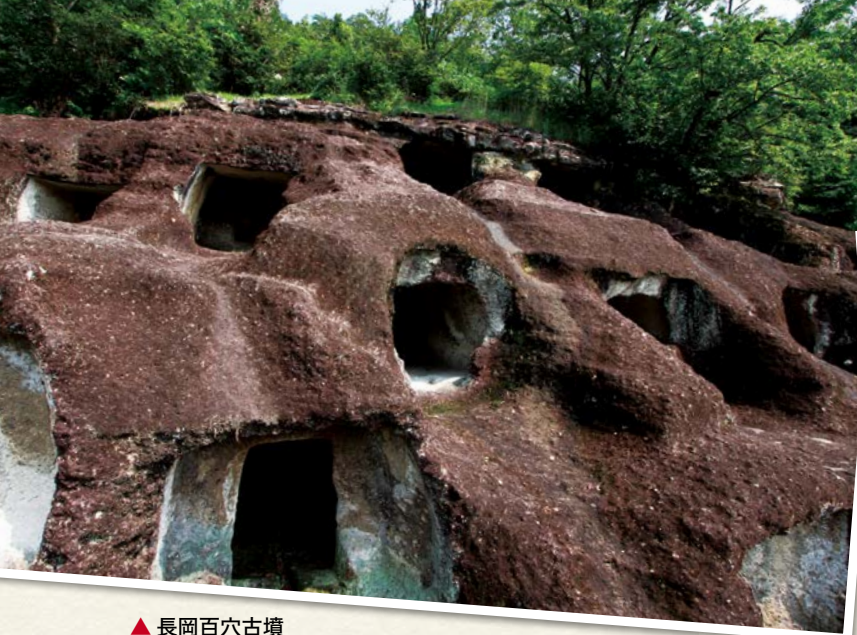
大谷石の源は、約1500～2000万年前、海底火山の噴火が産出した凝灰岩ぎょうかいがんの地層に始まります。縄文時代には岩山の洞穴を住居として利用し、古墳時代には横穴を掘って墓地にしたといわれています。

長岡町にある「長岡百穴古墳」もその1つです。主要道路の横にある52基の横穴墓群は、丘陵の斜面を利用して墓室とした横穴群。穴の直径は1mほどで、そのほとんどの奥壁には

観音像などが彫刻され、凛りんとした空気に包まれています。

大谷石の産地である大谷地区で大谷石採掘の歴史を伝えているのが「大谷資料館」です。なかでも地下採掘場跡は、1919年から大谷石を掘り出して出来上がった地下約30m、広さ約2万㎡の広大で神秘的な地下空間。巨大な壁面にはまるで年輪のように、あるいは地層のように軌跡が刻まれ、往時の記憶を今に伝えています。1960年代に機械が導入されるまで採掘は手作業で行われ、厚さ18×幅30×長さ90cmほどの石材1本を切り出すために、職人たちは約4,000回もつるはしを振るったといいます。館内には当時の採掘道具も展示されています。





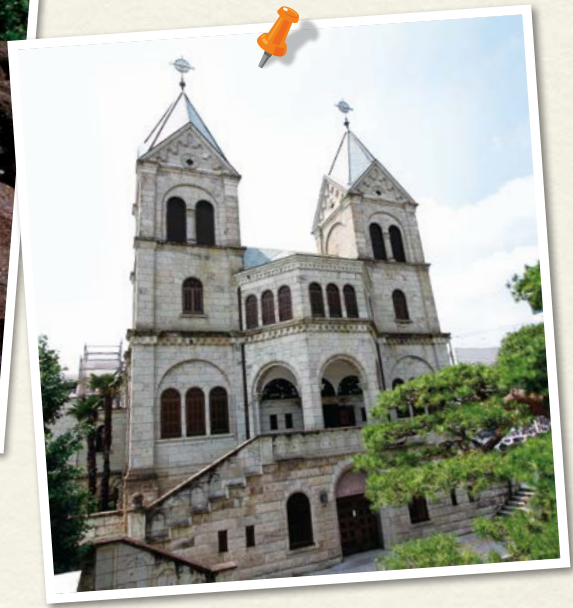
▲ 長岡百穴古墳

"長岡の百穴"とも呼ばれ、7世紀前半につくられたといわれています



▲ 宇都宮大学・フランス式庭園

1926(大正15)年秋に完成したフランス式庭園。  
宇都宮市の「うつのみや百景」にも指定されています



▼ カトリック松が峰教会

大谷石造りの聖堂は、  
スイス人の建築家マックス・ヒンデル氏による設計です



▲ 大谷資料館

地下探掘場跡はイベントホールやコンサートホールとしても活用されています

宇都宮市の中心部には、ロマネスク様式の装飾が施された大谷石が外壁を覆う「カトリック松が峰教会」があります。1888年に建設された、日本では数少ない双塔を持った中世期の教会建築です。教会内部にも多くの大谷石が使われており、国の登録有形文化財に指定されています。

四季の自然に彩られる庭園にも大谷石は使われています。国登録記念物(名勝地)として登録された宇都宮大学のフランス式庭園は、左右対称の幾何学模様を描くように造られ、大谷石の園路が縦横に走っています。天気の良い日には、学生たちがベンチでお弁当を広げたり、近隣の住民が散歩したり、憩いの場として多くの人に愛されています。

古より人々に親しまれ、暮らしを支えてきた大谷石。今も残る大谷石の建造物は、モダンなカフェやギャラリーとしても活用が進み、大谷石の歴史をつないでいます。

ココに注目



大谷資料館の隣に2016年オープンしたカフェ「ROCKSIDE MARKET」。人気メニューは、栃木県産のそば粉と新鮮な地元野菜や果実を使ったモチモチ食感のガレットです。大谷石のコースターなどのお土産もあります。

日立グループ事業所紹介

今回訪れた栃木県宇都宮市には日立ヘルスケアシステムズ株式会社宇都宮営業所があります。日立グループの先進技術を活用して適切な患者ケアを実現するため、ソリューションを医療機関へ幅広く提供、医療の発展と国民の健康維持・増進に貢献します。

日立ヘルスケアシステムズ株式会社 宇都宮営業所

栃木県宇都宮市馬場通り1-1-11 宇都宮TDビルディング

<http://www.hitachi-hs.co.jp/>



## 知財を重視した経営戦略を支援する 「日立知財ソリューション」

総合化学メーカーである株式会社ダイセル(以下、ダイセル)は「守りの知財」からIPランドスケープ<sup>※1</sup>による「攻めの知財」への変革をめざし、日立の知的財産管理システム「PALNET<sup>パルネット</sup> / MC6<sup>エムシーシックス</sup>」と特許情報提供サービス「Sharesearch<sup>シェアリサーチ</sup>」を導入。知財情報の一元管理と効率的な特許情報の利活用による経営イノベーションに取り組んでいます。

※1 自社や他社の知財を俯瞰的に分析・可視化し、将来の事業環境を予測することで、経営戦略の立案や新たなビジネスモデルの開発をすること。

### ■ 「守り」から「攻め」の知財へシフト

セルロース、有機合成品、合成樹脂、火工品など、社会に不可欠な幅広い素材をグローバルに開発・供給しているダイセル。なかでも液晶保護フィルム向けの酢酸セルロースや、自動車エアバッグ用インフレーター(ガス発生装置)では世界トップクラスのシェアを誇り、ダイセル式生産革新に代表される「モノづくり力」は国内外から高く評価されています。

その重要な経営資源である知的財産を管理する「知的財産センター」では、2017年から日立の知的財産管理システム「PALNET / MC6」と特許情報提供サービス「Sharesearch」を導入。知財を重視した経営戦略であるIPランドスケープを積極的に推進しています。

「これまで当社の知財部門は、日本企業の多くがそうであったように、競合からの特許侵害を防ぐことを主目的とした“守り”のスタンスで活動していました。しかしIPランドスケープの進展にみられるように、より事業や経営に資するグローバルな視点での提案が必要になってきたことで、2年前から“攻めの知財”へのシフトを図ってきました。具体的には、素材製品を開発するだけでなく、その素材を使い、お客さまがどのような課題を解決したいのかまで踏み込んだビジネスモデルの開発や、他社情報との連携によるオープン・クローズ戦略を実施し、知財先取での秘匿化、標準化、知財売買などを

実践していく取り組みを行っています。そのために自社他社情報の一元化や調査業務の効率向上を実現する基盤が必要となり、日立のシステムを導入することになったのです」と語るのは、知的財産センター 知的財産ソリューショングループ リーダーの江川 祐一郎氏です。

### ■ 社内外の知財情報の一元管理を実現

ダイセルが導入したのは、グループ企業全体の発明提案から権利維持までの一連の特許業務を一元管理し、知財の有効活用とリスク管理をサポートする知的財産管理システム「PALNET / MC6」と、世界98の国と地域の特許情報などをWebブラウザ上で高効率・高精度に収集できる特許情報提供サービス「Sharesearch」です。

「それまでは、社内の知財管理と外部の特許情報検索が全く別々のシステムとして動いていました。そのため社内と社外の情報を合わせて分析したいと思っても、知財部門が手作業によって表計算ソフトなどを用いて作成するしかなく、非常に大きな手間が発生していました。攻めの知財を推進するには自社で生み出したアイデアが、世界の公開特許と比べてどう位置づけられるかのSWOT分析<sup>※2</sup>をリアルタイムにできなければなりません。そのスピード感が当時のシステムでは実現できなかったのです。そこで複数ベンダーのシステムを検討した結果、この2つのシステムをシームレス



## 株式会社ダイセル

<https://www.daicel.com/>

本社所在地 大阪：大阪市北区大深町3-1 (グランフロント大阪タワーB)  
 東京：東京都港区港南2-18-1 (JR品川イーストビル)  
 設立年月日 1919年9月8日  
 資本金 362億7,544万89円 (2019年3月31日現在)  
 従業員数 連結 12,319名 単体 2,421名 (2019年3月31日現在)  
 事業内容 セルロース事業、有機合成事業、キラル分離事業、合成樹脂事業、火工品事業、その他の事業



に連携でき、業務効率とスピードを向上できる日立の環境がベストだと判断しました」と江川氏は説明します。

※2 外部環境や内部環境を、強み(Strengths)、弱み(Weaknesses)、機会(Opportunities)、脅威(Threats)の4つのカテゴリーで要因分析し、経営資源の最適活用を図る分析手法

### ■ タイムリーかつ効率的な知財業務に貢献

「社内で生み出された未公開・未出願の発明情報と、外部の公開特許情報をリアルタイムかつ横断的に分析できるようになりました。各技術分野における自社の立ち位置を客観的に把握できるだけでなく、複数部門のアイデアやテーマを連携した付加価値の高い発案を早期に行いやすくなります。他社の特許情報をタイムリーに把握することで、先行した研究開発の推進につながるポートフォリオの把握も期待できます」と江川氏はPALNET/MC6とShareresearchとの連携メリットを高く評価します。

また、知的財産センター 知的財産戦略グループの村上真理子氏は、「PALNET/MC6のワークフローに業務を合わせることで、データ入力の負荷分散が図れたほか、包袋<sup>※3</sup>登録の自動化などにより、書類管理も含めた業務の効率化が進みました。データとワークフローのログ(証跡)が一元的に管理される仕組みのため、セキュリティやガバナンスも大幅に強化されたと思います。技術開発部門や特許事務所との連携も含めた知財業務フローの見直しにより知財部門の業務負荷が低減しました」と、話します。

「国内外の特許情報は膨大なデータですが、自分が調査したい観点で容易に情報が検索できれば開発効率上がり、イノベーションが起こしやすくなります。その点Shareresearchは、サーチャーのスキルがなくても自然な言葉で簡単に検索できるのがいいですね。今回のシステ



株式会社ダイセル  
 江川 祐一郎 氏      村上 真理子 氏      水方 勝哉 氏

ムは技術者や知財部門に限定せず、営業やマーケッター、経営層も含めた全社員がアクセスできる環境のため、Shareresearchの活用をさらに広めていくことで全社一丸となった知財戦略の推進に役立つのではないかと期待しています」と、知的財産センター長の水方 勝哉氏は使いやすさを評価しています。

※3 特許・商標などの出願・権利化業務において発生した文書ファイル

### ■ 知財基盤のさらなる強化へ

ダイセルは2019年4月から「知的財産ソリューショングループ」を新設。IPランドスケープの推進と、新たなビジネスモデルの開発を加速させるため、知財システム基盤のさらなる強化を志向しています。

「今後は、より多くのステークホルダーに研究開発や事業戦略の方向性を共有してもらうことが必要です。そこで、日立には知財情報をさらに直感的かつリアルタイムに見える化できるビジュアル機能の強化を期待しています」と江川氏は語ります。

その挑戦を、これからも「日立知財ソリューション」の継続的な強化によって支援していきます。

#### お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 公共システム事業部・公共システム営業統括本部  
<https://www.hitachi.co.jp/app/tokkyo/>





## 電子カルテシステムの基盤に日立ハイパーコンバード インフラストラクチャ(HCI)ソリューションを採用

デジタル化が進む医療機関では、複雑化するITシステムの運用負荷増大や、システム拡張時のダウンタイム最小化などが大きな課題となっています。そこで地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院（以下、県立多治見病院）は、電子カルテシステムの更新に合わせてITインフラに「日立HCIソリューション for Nutanix」を採用。ミッションクリティカルシステムに求められる可用性と信頼性、運用・設備コストの低減をトータルに実現しました。

### 利便性の高い医療環境に向け電子カルテシステムを刷新

1939年開設の県立多治見病院は東濃・可児地域の基幹病院として高度先進医療、急性期医療、政策医療などを提供。救命救急センターやNICU（新生児集中治療室）、周産期母子医療センター、緩和ケア病棟などを次々と拡充。2010年4月に地方独立行政法人となって以降も、地域医療のさらなる充実に貢献しています。

県立多治見病院は2019年5月、院内ITシステムの中核となる医療総合情報システム（電子カルテ）を刷新。株式会社ソフトウェア・サービス（以下、SSI）が開発した「新版e-カルテ®」（電子カルテシステム）と「NEWTONS2」（オーダリングシステム）を新たに導入しました。

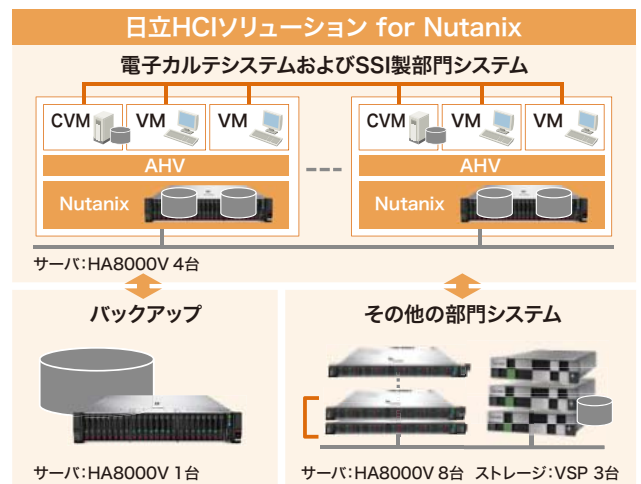
理事長兼病院長 近藤 泰三氏はその背景を「今回の電子カルテシステムの更新では、われわれ医療従事者と患者さま双方に、より利便性の高い医療環境を提供することを念頭に置きました。既存ベンダーも含めた複数候補の中からSSIのシステムを選んだのは、ひとつは医療の標準化とチーム医療に役立つクリティカル・パスシステム\*がとてもしやすかったからです。患者さまにとっても新システムに移行することで、入院から退院に至るまでの治療・検査・処置・指導などの過程が分かりやすくなると考えました。もうひとつは、部門システムの統合メリットがあることです。一般的な電子カルテシステムは、他ベンダーも含めた多くの部門システムと連携させるため、システム構造が複雑になり運用コストも

かさむ傾向にありました。しかしSSIは自社製の部門システムを多数用意しており、電子カルテとシームレスに連携できます。データベースも一元化されているため、構造がシンプルで運用負担が低減できる点も評価しました」と説明します。

※ スケジュール表（パス表）を利用して医療提供プロセスを最適化するシステム

### 導入・運用・保守までワンストップで支援する 日立HCIソリューション for Nutanix

電子カルテシステムは24時間365日稼働のミッションクリティカル性に加え、データ量の増加にも柔軟に対応することが求められます。県立多治見病院ではすでに仮想化



AHV: Acropolis Hypervisor (Nutanixが提供する無償のハイパーバイザー)  
CVM: Controller VM (Nutanixの独自ソフトウェア(AOS)を格納したアプライアンス仮想マシン)  
VM: Virtual Machine (仮想マシン)

日立HCIソリューション for Nutanixの概要



## 地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院

<http://www.tajimi-hospital.jp/>

所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地  
 開設 1939年9月8日  
 病床数 計575床  
 診療科 内科、腎臓内科、血液内科、内分泌内科、リウマチ科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、新生児内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科など全30診療科

## 株式会社 ソフトウェア・サービス

<http://www.softs.co.jp/>

所在地 大阪府大阪市淀川区西宮原2-6-1  
 創業 1969年4月  
 資本金 847百万円  
 従業員数 1,361名(2019年4月30日現在)  
 事業内容 医療機関向けに「新版e-カルテ®」(電子カルテシステム)、「NEWTONS2」(オーダエントリーシステム)を中心とした医療情報システムの開発・販売・導入・保守など

環境を導入していましたが、物理サーバも数多く残されており、ハードウェアの一元管理が困難なほか、障害時の切り替えやストレージを追加する際に数時間のダウンタイムが生じることが課題になっていました。

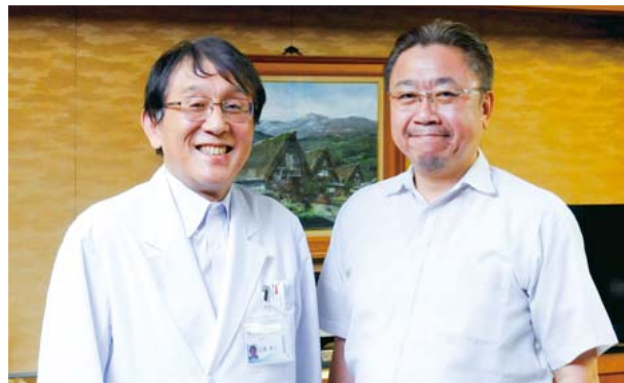
そこでSSIは、サーバ、ストレージ、SANスイッチを集約したシンプルな構成で、運用性と可用性の向上を実現するHCIの導入を県立多治見病院に提案。同院は数あるベンダーの中から、IAサーバ「HA8000Vシリーズ」とNutanix製のHCIソフトを検証済みの構成として提供する「日立HCIソリューション for Nutanix」を採用しました。

今回HCIの提案、導入、運用から保守までを日立システムズがワンストップで担当。同ソリューションは、システムを止めない冗長性と性能ボトルネックの分散データの冗長化を実現するNutanixの特長に加え、ハイパーバイザーや仮想マシンの管理を容易にする専用運用管理ツール「Prism」を標準添付。ハードウェアやソフトウェアにまたがる複合的な問題にも迅速な復旧をサポートする「日立サポート360」など、日立ならではの手厚いサービスを合わせて提供しています。

### HCIとストレージ構成の組み合わせで導入コストを最適化

日立はSSIと連携した電子カルテシステム導入プロジェクトの中で、規模や業務要件に合わせたITインフラ全体のデザインと構築を支援しました。最も重要な電子カルテシステムの基盤にはHCIを導入しましたが、一部の部門システムにはOracleのライセンスコストという課題がありました。Oracleのライセンスは、Oracle製品が稼働する物理サーバの全CPUがライセンス課金対象となります。

部門システムをHCIに統合した場合、HCI基盤を構成する全てのCPUが課金対象となりコストが跳ね上がってしまいます。そのため、一部の部門システムの基盤はミッドレンジストレージ「Hitachi Virtual Storage Platform (VSP)」を用いた仮想化基盤構成を適用する



地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院  
 近藤 泰三氏 金子 浩久氏

ことで、コストの最適化を図りました。

このシステム環境に対して、県立多治見病院のITシステムを管理する管理課 システム管理担当 課長補佐 金子 浩久氏は、「電子カルテの基盤がHCIになったことで、信頼性と可用性が大幅に高まるものと期待しています。また部門システムの統合で、サーバのメンテナンス負担もかなり軽減できると思います。さらに以前は6ラックあったシステムが2ラックに収まり、予想以上の省スペース化と省電力化も実現することができました」と評価します。

### 安心のITインフラを継続的にサポート

現在、県立多治見病院では2022年度中の開設をめざした新中央診療棟建設プロジェクトが進行中です。新棟には高度急性期、急性期医療の機能が集約されるほか、ハイブリッド手術室や、手術支援ロボットに対応した手術室など、先端医療が可能な12の手術室も新設される予定です。医療の効率性と安全性を高め、チーム医療をさらに推進するため、電子カルテシステムとその基盤となるHCIの重要性も一段と高まることが予想されます。

これからも日立はSSIとの協創で、医療現場を支えるITインフラを継続的にサポートしていきます。

#### お問い合わせ先

(株)日立製作所 ITプロダクツ統括本部 HCI拡販センタ  
<https://www.hitachi.co.jp/soft/hci/ask/index.html>



#### 情報提供サイト

日立HCIソリューション  
<https://www.hitachi.co.jp/soft/hci/>



# ハイパーコンバージドインフラストラクチャ(HCI)の導入効果を最大化する「日立HCIソリューション」

ビジネス環境の急速な変化に対応するため、IT基盤の柔軟な拡張と、容易な運用を両立するHCIを導入する企業が増加しています。日立は、HCIの導入効果を最大化するために、導入から運用までをワンストップで支援する「日立HCIソリューション」を提供。「JP1」によるシステム全体のリソース監視や、運用の自動化で、導入後の運用課題を解決し、お客さまニーズに幅広く対応したHCI環境を実現します。

## HCI導入で期待した効果とのギャップ

HCIは、サーバ、ストレージ、SANスイッチを、IAサーバ上に一体化した新しい形態の仮想化基盤です。複数の物理サーバにまたがったサーバリソースとストレージリソースを1つの仮想的な共有プールとして利用できるのが特長です。従来型のサーバ仮想化環境より「構成がシンプルで運用などのコストが削減できる」「サーバを追加するだけで容易に拡張可能」「ベンダーがハードとソフトを検証済みの構成で提供するため迅速に導入できる」といったメリットから、サーバ仮想化基盤やVDI基盤などの用途で市場に浸透し始めています。

しかし、実際にHCIを導入した企業からは「期待したほど効果を得られていない」といった声もあります。その上位を占めるのは「運用管理を一元化できなかった」「運用管理を効率化できなかった」「導入時間を短縮できなかった」という意見です。

こうしたHCIの導入と運用に関わる課題をトータルに解決するのが「日立HCIソリューション」です。日立は、他社にはない独自の運用管理ツールとサービスを提供することで、

HCIの導入から仮想化基盤の構築、運用までをワンストップでサポート。IT部門の管理負荷を軽減し、本来の業務に集中できる、真のHCI環境を実現します。

## JP1でシステム全体の運用管理を一元化

日立HCIソリューションでは、日立アドバンストサーバ HA8000Vに、VMware vSAN™を搭載した「日立HCIソリューション for VMware vSAN™」と、Nutanix Enterprise Cloud OSを搭載した「日立HCIソリューション for Nutanix」をラインアップ。それぞれ、拡張性を重視した標準タイプと、ストレージ容量を重視した大容量タイプを用意しています。

また、日立独自の運用管理ツール「JP1」も標準で搭載しています。これにより、HCIの仮想マシンの管理だけでなく、その上位の業務システム（アプリケーション/ミドルウェア/データベース）と物理リソースの関連性までをリアルタイムに可視化することが可能となります。障害対応の迅速化やリソース対応の最適化までを支援し、システム全体の運用管理を一元化することができます。

### 基本メニュー体系

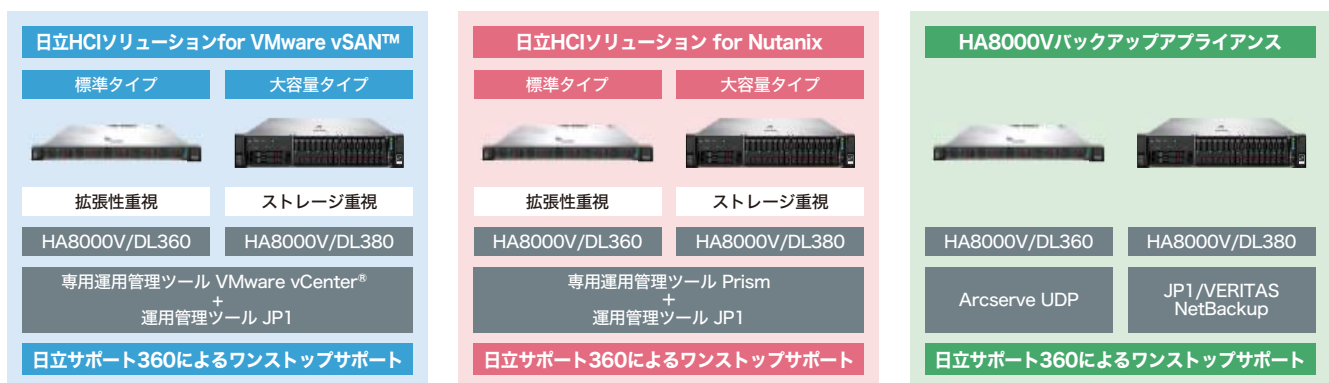


図1 日立HCIソリューションの基本体系

## ■ 手作業の自動化で運用管理を効率化

HCIで集約された仮想化環境は、物理サーバ(ノード)の追加が容易になる反面、ノード監視対象が増える傾向にあり、これが日々の運用管理が煩雑化する大きな要因となっています。

日立HCIソリューションなら、頻繁に行われる設定変更や、仮想マシンの起動・追加・停止・デプロイに加え、システム稼働中のファームウェア/ドライバの更新(ローリングアップデート)といった操作も、JPIで簡単に自動化することができます。これにより、手作業の負担と人為的ミスを減らし、同じ作業品質を維持することでシステム全体の安定稼働に貢献。運用管理の効率化を実現します。

HCIを構成するハードウェアとソフトウェア、バックアップアプライアンスといった製品群をすべて検証済みの組み合わせとして提供するほか、問い合わせ窓口も「日立サポート360」で一本化するため、万一の際も迅速な復旧をサポートします。

## ■ 短期間で確実なサービスインを支援

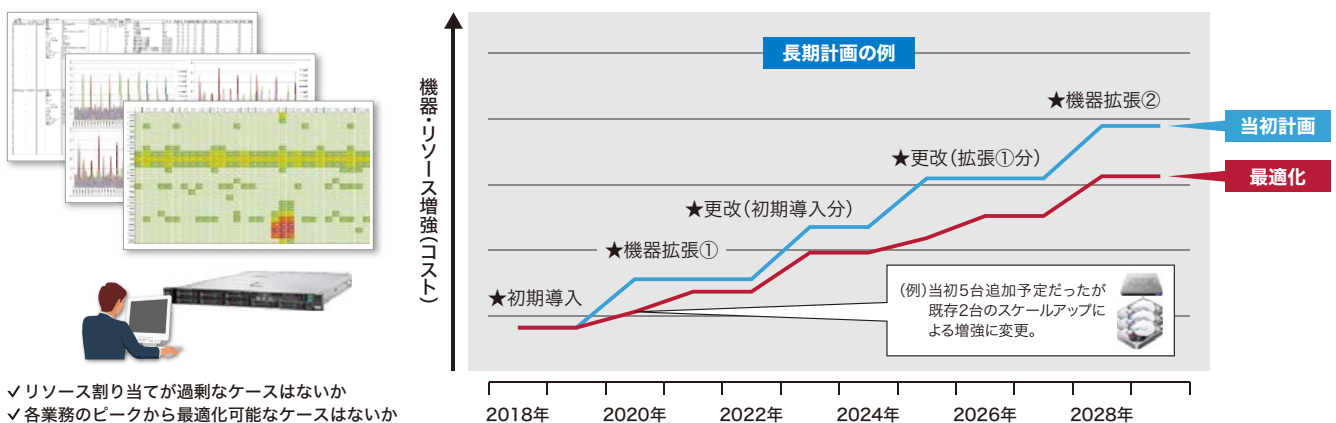
一般的にHCIは、導入時は構築済みの環境として提供されますが、導入後は、VM(仮想マシン)作成などから着手する必要があります。加えて、バックアップの設定や電源運用、クラスタ環境の構築など、稼働させるまでには想像以上の手間と時間がかかる場合があります。そこで日立HCIソリューションでは、お客さまの業務要件や特性に合わせた各種オプションサービスやバックアップアプライアンスなどをワンストップで提供。短期間で確実なサービスインを支援します。

また、導入コストがネックとなるVDI(仮想デスクトップ基盤)用途に向けては、HCI基盤をベースにした、「かんたんVDIモデル スケールアウト型VDI」を用意。小規模構成でのスモールスタートを安心・迅速にできます。

これからも、「日立HCIソリューション」を継続的に強化し、お客さまのITシステムにおける導入・運用コストの最適化を支援していきます。

### 【活用例】業務からハードウェアまで関連付けたリソース管理でコスト最適化

- 構成情報やリソース利用状況の可視化&レポート出力
- 業務単位・仮想マシン単位でリソースの過不足を分析しやすく、再配分の是非や適材適所なスケールアウト・スケールアップ計画の策定が容易に



- ✓ リソース割り当てが過剰なケースはないか
- ✓ 各業務のピークから最適化可能なケースはないか

図2 HCIから業務システムまでリソースを一元管理

#### お問い合わせ先

(株)日立製作所 ITプロダクツ統括本部 HCI拡販センタ  
<https://www.hitachi.co.jp/soft/hci/ask/index.html>



#### 情報提供サイト

日立HCIソリューション  
<https://www.hitachi.co.jp/soft/hci/>



# モーターの電流データを分析、劣化状態を可視化し、異常をいち早く検知する「モーター電流予兆診断ソリューション」

各種プラントの運転を支えるモーター関連設備には、機器のトラブルによる設備の計画外停止や保守・点検にかかるコストの増加といった課題があります。そこで日立は、電流データをもとにAI（人工知能）を活用してモーターの劣化や異常などを自動的に検知・可視化するソリューションを開発しました。このソリューションにより設備の安定稼働と保守コスト低減に貢献します。

## ■ モーターの状態を可視化し、プラントの安定稼働を支援

さまざまな機械装置・設備が稼働するプラントになくはない動力源がモーターです。その停止や不具合は、プラントの製造工程全体に重大な影響を及ぼしかねない大きな問題です。そこで日立は、プラントの中核装置であるモーターの電流データを収集し、AIを使って分析、劣化状態を可視化し、異常を検知する「モーター電流予兆診断ソリューション」を開発しました。デジタルイノベーションを加速するLumada<sup>ルマダ</sup>の次世代メンテナンスソリューションとして、鉄鋼分野向けに2019年10月から提供を開始します。

本ソリューションの特長のひとつは、リモートで点検・診断ができるためモーターの点検作業をより安全な環境で実施可能になることです。また、多数のモーターの監視・分析・診断を集約するため保守業務の省力化とコスト低減を実現。さらに、モーターごとの状態を可視化するため、個々のモーターについてメンテナンスの優先順位を判断できるほか、作業員の感覚や経験則に頼っていた診断を標準化し、熟練作業員の不足も補完可能など、プラントの安定稼働をさまざまな角度からサポートします。

## ■ 保守の集約・最適化による業務省力化とコスト低減

現在、モーターの劣化診断には振動計や温度計が使われるのが一般的です。しかし、高温・多湿などプラント内の過酷な環境下では振動計を設置できなかったり、仮に設置できても初期コストが増大したり、さらには、そう

した現場では点検作業の安全性の確保も難しいといった課題がありました。このため、頻繁な点検作業が実施されず、モーターが停止する直前になって初めて不調や不具合が検出され、予備品がないことや作業人員が確保できないことによる計画外設備停止が長くなる事態が生じていたのです。

本ソリューションでは、電気室に設置された制御盤内部のケーブルを挟むだけのクランプ式の電流センサーを採用。ケーブルを外したり、被膜を剥がしたりする必要がなく容易に設置でき、振動計のように微妙な設置位置の調整なども不要です。さらに、センサーを制御盤内に集約できるので、センサーメンテナンスのために現場を回ることもなく、作業員の負担を大幅に軽減できます。

また、従来は使用期間を目安に使用期間が長い劣化の進んでいないモーターを交換してしまったり、使用期間は短い劣化の進んだモーターの交換が後回しになってしまったりといった状況が発生していました。これに対し、本ソリューションでは、AIを活用した予兆診断アルゴリズムによって電流データを分析。個々のモーターの劣化状態を可視化し、劣化の兆候を把握しながら、修理・交換が必要な対象だけをメンテナンスすることで、突発的な設備停止の防止や、メンテナンス費用の軽減に貢献します。

## ■ 先進技術の根底に息づくモノづくり日立のDNA

1910年、国産初の5馬力誘導電動機を完成させて創業した日立製作所は、以来幅広い産業分野に事業領域を



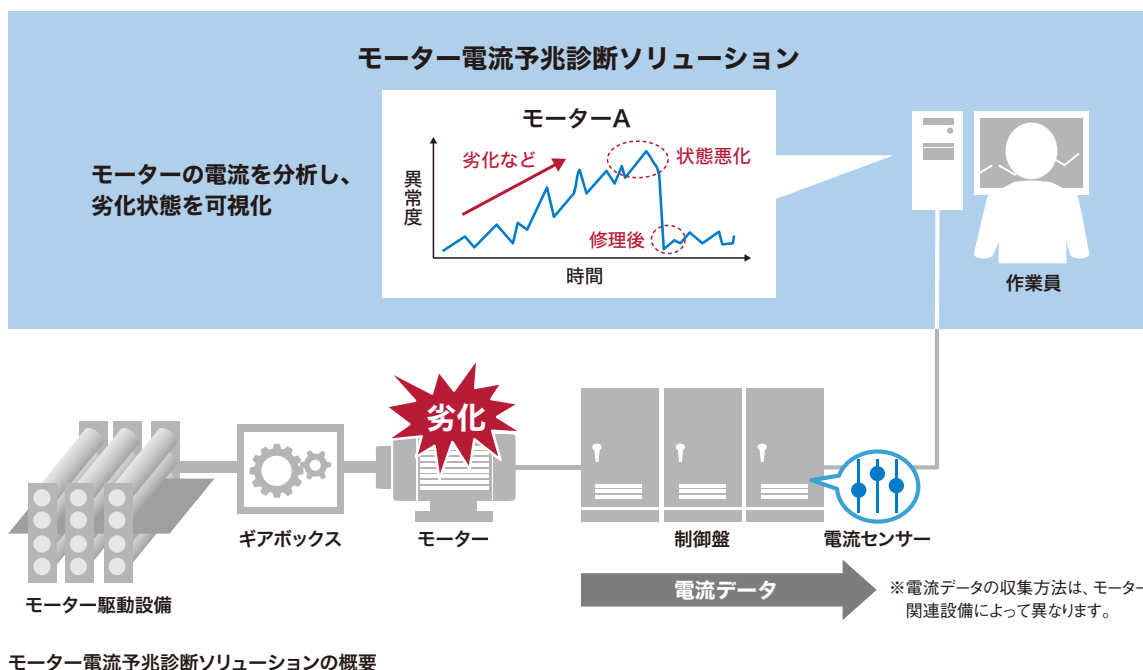
展開しながら、世界的電機メーカーへと飛躍的な発展を遂げてきました。

このように、日立にとって極めて重要な位置を占める製品であるモーターに関する高度な技術や膨大な知見が、本ソリューションの核心部ともいえる日立独自の予兆診断アルゴリズムに投入されています。「電流のどのような挙動にモーターの劣化の兆候が表れるか」といった知見は、AIによるデータ解析だけでなく、モーターの物理的構造を知り尽くし、長年にわたってその製造に従事してきた経験と実績があったからこそ得られたものです。予兆診断を可能にするAIアルゴリズムという先進のデジタル技術と、メーカーとして磨き、蓄積し続けてきた製造技術・ノウハウを融合させた点こそ、本ソリューションの価値と独自性を生み出した源泉といえるでしょう。

## ■ もっと便利に使いやすく、進化するソリューション

本ソリューションに対応しているのは交流モーターのみですが、直流モーターへの対応も進めています。また、市販のCPU搭載型ロガー装置とエッジコンピューティング技術を組み合わせた、より容易かつ低コストで導入できるパッケージ版の開発も進行中です。さらに、モーターだけでなくモーターに接続されたギアボックスや、その先の各種装置・設備の状態まで可視化・診断できる発展型ソリューションの開発にも取り組んでいます。

動力源として種々の設備機器、そしてプラント全体を動かし、多様な産業を支えている中核装置、モーター。その製造を原点に持つ日立は、長年培ってきた成熟技術と先進的なデジタル技術によってシナジーを生み出しながら、これからもさまざまな産業の現場を支えていきます。



お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 制御プラットフォーム統括本部  
<https://www.hitachi.co.jp/motor-maint/>



# お客様の課題解決に役立つ情報が満載！ 日立ワークスタイル変革ソリューション

ダイバーシティが加速する時代において、働き方は今まで以上に個人の生き方に寄り添ったものになっていきます。

日立ワークスタイル変革ソリューションサイトでは、「一人ひとりをより輝かせたい」「結果を出し続ける組織作りをしたい」そんな思いをカタチにするために、日立のノウハウとデジタル技術を活用した「働き方改革のススメ方」や、多様な働き方の実現に貢献するソリューションやサービスを紹介しています。

また、お客様の課題解決に役立つコラムや記事、イベントの情報などもお届けしていますので、ぜひご覧ください！



## お客様と日立が取り組んだ働き方改革の実績を多数掲載 「コンシェルジュサービス」

さらに、「コンシェルジュサービス」に利用登録をいただくと、お客様と日立が取り組んだ働き方改革の事例を確認できます。

幅広いテーマで、現場が直面していた課題、解決するうえでの苦労や工夫を紹介しています。

生産性の向上や従業員がイキイキと働ける職場を実現したリアルな事例を通して、「働き方改革」のヒントを得ることができます。

[https://conciergeservice.hitachi.co.jp/web\\_concierge/](https://conciergeservice.hitachi.co.jp/web_concierge/)



お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部  
[https://www.hitachi.co.jp/ws\\_sol/](https://www.hitachi.co.jp/ws_sol/)



# ニュースリリースダイジェスト

2019/6/21 ~ 2019/8/20の中から

ニュースリリースの一覧はこちらからご覧いただけます

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/portal/news/>



クラリベイト・アナリティクス・ジャパンと日立、  
海外特許文献の調査業務を効率化するサービスを  
販売開始  
(6/26)

世界59の特許発行機関が発行する30言語以上にのぼる  
約8,400万件の要約された海外特許情報を提供し、企業の  
知財戦略立案を支援

日立のTCP最適化ソフトウェアが、米国ベライゾン社の  
Verizon Virtual Network Servicesの提供メニュー  
に採用  
(7/12)

高度なセキュリティが要求されるグローバルビジネスの多様な  
ニーズに対応したWAN最適化サービスの提供が可能

肥後銀行の新基幹系システムが稼働開始  
(7/17)

Linuxベースのオープン基盤を採用し、コスト最適化のほか、  
利用者のサービス品質向上や迅速な新商品・サービス開発を  
支援

日立が東京電力PG・中部電力共同調達による  
需給調整市場システムを受注  
(8/2)

ABB社のMMS(Market Management System)ソリューション  
活用により、エネルギーの安定供給に貢献

## Information

### 日立ID会員サービスのご紹介

日立ID会員サービスは、主に法人のお客さまを対象に  
日立製作所が提供する会員向けの情報提供サービスです。

日立IDにご登録(無料)いただくと、「コンシェルジュサー  
ビス」の利用や、本誌「はいたつく」の購読をはじめ、日立  
グループが主催するイベント/セミナーの参加やメールマガ  
ジン配信の申し込みを、簡単に行うことができます。

また、経営や業界の最新動向や日立の最先端の取り組み  
など、ビジネスにすぐに役立つ情報をお届けしています。

ぜひご登録ください。

[詳しくはこちら](#)

<https://www.hitachi.co.jp/hjid/>

各種サービスの申し込みはこちらから ▶



#### ●本誌記載の他社登録商標

- ※Nutanixは、米国およびその他の国におけるNutanix, Inc.の登録商標です。
- ※e-カルテは、株式会社ソフトウェア・サービスの登録商標です。
- ※Oracleは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- ※VMware、VMware vCenter、VMware vSANは米国およびその他の地域におけるVMware, Inc. の登録商標または商標です。
- ※その他、本誌記載の会社名、商品名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

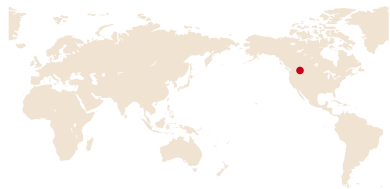
#### ●本誌記載の内容について

社外からの寄稿や発言は、必ずしも当社の見解を示しているわけではありません。  
画面表示をはじめ、製品仕様は改良のため変更することがあります。

## 表紙のことば

ウォータートン・レイクス国立公園の夕景  
(カナダ)

カナダのウォータートン・レイクス国立公園は「ロッキー山脈が大平原に出会うところ」といわれる。その見どころがアッパー・ウォータートン湖。湖の畔(ほとり)には1927年創業のプリンス・オブ・ウェールズ・ホテルが堂々たる風格をみせる。夕刻、雲間から漏れる光芒(こうぼう)に、老舗ホテルの建つ丘が鮮やかに浮かび上がった。背後に連なるのは、湖の両側にせり出した勇壮なロッキー山脈の山並み。ただ静かに見つめていたい、壮大な絶景である。



写真家 富井 義夫

Facebook 随時更新中  
<http://photo1.jp/facebook/>

